

**嘉手納町兼久海浜公園
リニューアル基本計画（案）**

平成28年2月

嘉 手 納 町

目 次

序. 基本計画の検討にあたって	1
1. 基本計画策定の目的	1
2. 検討内容	1
I. 前提条件の整理	2
1. 基本構想の整理	2
1) 兼久海浜公園の概要	2
2) 公園リニューアル検討の流れ	3
3) 敷地の法規制等の状況	4
4) 現在のゾーニング	5
5) リニューアルの目的	6
6) 整備方針と導入を検討する機能・施設	7
7) 配置する施設および設備の設定	9
8) 基本構想でのゾーニング案	10
9) 今後の検討事項	12
2. 関係者等ヒアリングの概要	14
1) 関係者等ヒアリングの実施概要	14
2) ヒアリング結果の概要	14
3. 住民ワークショップの概要	18
1) ワークショップの開催概要	18
2) 第1回ワークショップ概要	18
3) 第2回ワークショップ概要	20
4) 第3回ワークショップ概要	22
4. その他関係事項の整理	29
1) 観光整備のイメージの整理	29
2) 近隣の公園の参考事例	30
3) 津波避難ビルについての整理	31

II. リニューアル基本計画	34
1. 計画の基本的な考え方	34
1) 基本理念	34
2) 基本方針	35
2. 施設計画の方針	37
3. 公園機能の再整理	47
1) 整備エリアの区分	47
2) 現在の機能・施設と導入が考えられる機能・施設	48
4. リニューアル基本計画	50
1) 施設規模の設定	50
2) 動線計画	57
3) 整備水準の検討と設定	59
4) 施設配置計画	85
5) 整備イメージ	89
III. 事業計画	91
1. 整備手法の検討	91
2. 整備スケジュールの検討	93
3. 開園後の維持管理	98
1) 植物管理	98
2) 施設管理	100
3) 清掃管理	105
4. 管理運営	102
1) 管理運営の目的	102
2) 管理運営体制の種類	102
3) 管理運営における住民参加・協働	103
4) 維持管理方針	104
5) 維持管理方法	105
5. 施設整備にあたっての課題と対応策	110

序. 基本計画の検討にあたって

1. 基本計画策定の目的

兼久海浜公園は、平成 16 年度策定の「兼久海浜公園総合整備基本計画」に基づき、施設の整備が進められてきた。しかし、基本計画策定から 10 年以上が経過し、利用者の生活環境の変化および余暇活動における需要の変化により、施設機能と利用者の余暇活動の充実と、今後の町民、町外来訪者および観光客等のニーズに対応できる総合的な再整備が必要な時期に差し掛かっている。

そこで再整備に向け、平成 26 年度に「嘉手納町兼久海浜公園リニューアル基本構想」を策定したところである。基本構想では、兼久海浜公園の現況把握・分析に基づき、施設リニューアル方針を設定し、施設配置計画としてとりまとめるとともに、整備推進に向けての留意事項を整理している。

本年度は、基本構想の検討課題について、今後の基本設計・実施設計を円滑に進められるよう整備・調整を図るため、施設整備計画や事業計画を検討する。また、施設を利用した観光施策についても検討し、「嘉手納町兼久海浜公園リニューアル基本計画」を策定する。

2. 検討内容

本基本計画では、以下の項目について検討し、庁内検討委員会に諮った上で、とりまとめを行う。

I. 前提条件の整理

- 基本構想の整理
- 関係者等ヒアリングの概要
- 住民ワークショップの概要
- その他関係事項の整理

II. リニューアル基本計画

- 計画の基本的な考え方
- 施設計画の方針
- 公園機能の再整理
- リニューアル基本計画

III. 事業計画

- 整備手法の検討
- 整備スケジュールの検討
- 開園後の維持管理計画
- 管理運営
- 施設整備にあたっての課題と対応策

I. 前提条件の整理

1. 基本構想の整理

1) 兼久海浜公園の概要

兼久海浜公園は嘉手納町字兼久に位置する総合公園である。

町内で唯一海に接し、町西部では、唯一まとまった広場が確保されている公園である。

体育施設が充実しており、体育館に加え、夜間照明完備のソフトボール場や総合運動場、テニスコートなどが利用できる。

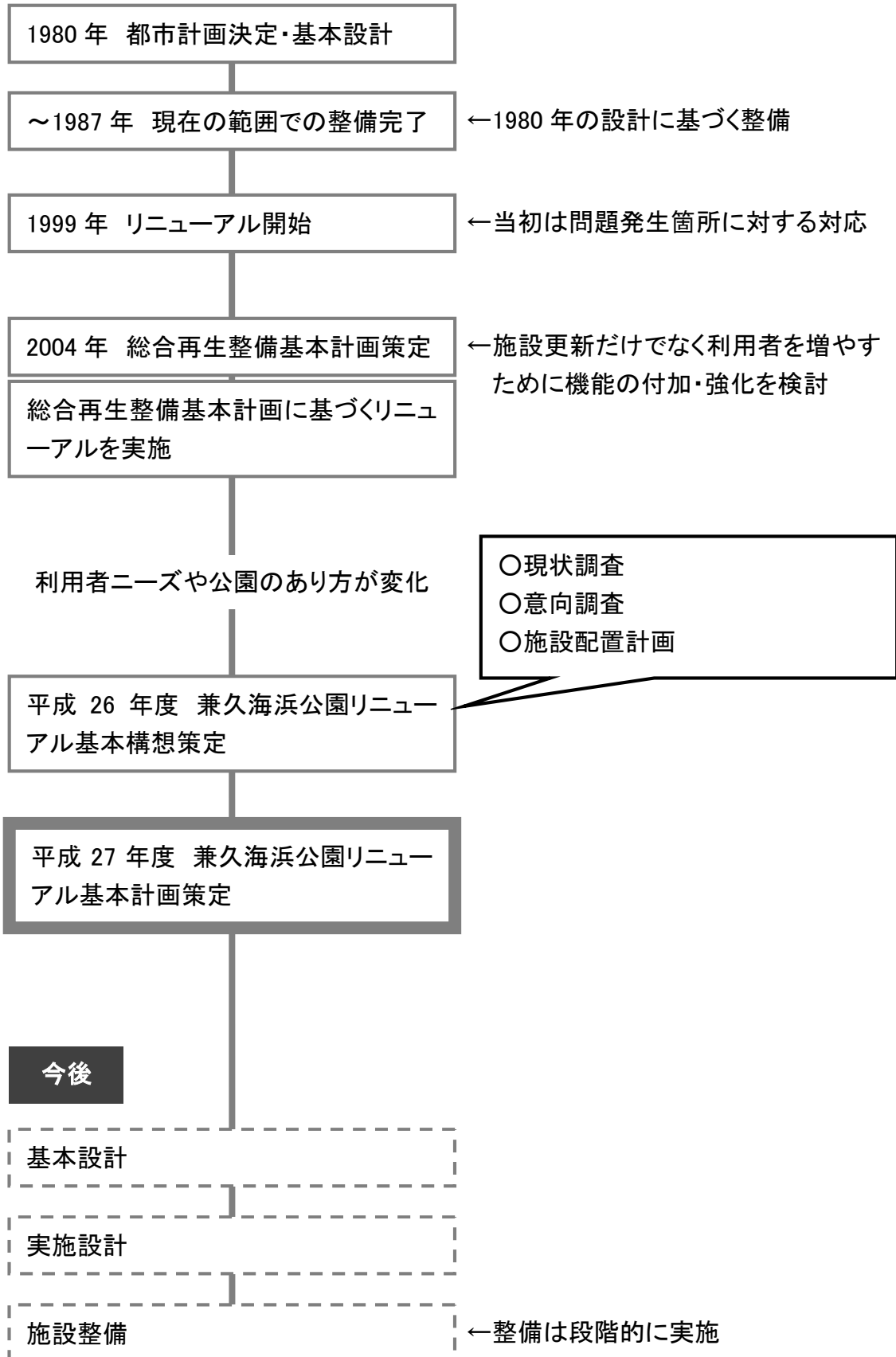
■兼久海浜公園の位置



■兼久海浜公園の概要

名称	兼久海浜公園
所在地	嘉手納町字兼久 85 番地 31
種別	総合公園
計画面積	8.10ha
開設面積	7.23ha（計画の範囲は全て開園しているが、園内に道路を含むため、公園としての面積は7.23ha）
施設概要	(1) 兼久体育館：鉄筋コンクリート一部鉄骨造 2 階建（建築面積：946.0 m ² 、延床面積：770.24 m ² 、アリーナ部分：616.0 m ² ） (2) テニスコート：全天候舗装 4 コート (3) ゲートボール場：クレー舗装 2 コート (4) 総合運動場：野球場 2 面・サッカー等（300mトラック） (5) ソフトボール場（収容人員 1,800 人） (6) 多目的広場 (7) 駐車場（普通車 163 台）、体育館周辺駐車場（普通車 59 台） 駐車場 合計 222 台

2) 公園リニューアル検討の流れ



3) 敷地の法規制等の状況

兼久海浜公園の敷地は、第一種住居地域になっているほか、海岸部分は海岸保全区域に指定されている。

また、公園全域が地震などによる火災から避難するための「広域避難場所」、兼久体育館が津波以外の災害（台風、地震、大雨など）の時に避難するための「津波以外の災害時避難所」に指定されている。

<都市計画法>

都市公園	種別	決定年月日	計画面積	用途地域
兼久海浜公園	総合公園	S55.2.28	8.10ha	第一種住居地域 (建ぺい率:60% 容積率:200%)

<海岸法>

海岸保全区域	指定区域				指定年月日	摘要
	から	まで	延長	平均・幅員		
嘉手納海岸水釜地区	嘉手納町字兼久 85-9 番地	嘉手納町字水釜 414 番地	1,660m	海側:250m 陸側:10m	S51.6.3	保安林を除く

<防災上の位置付け>

作成年:平成25年12月

避難場所等の凡例

	【広域避難場所・一時避難場所】 (こういきひなんばしょ・いちじひなんばしょ) 広域避難場所とは、地震などによる火災が延焼拡大して地域が危険になった場合など避難する場所である。大人数を避難できる面積の広い公園やグラウンドなどを指定している。一時避難場所とは、災害時の危険を回避するために、避難所までの道のりで一時的に避難する場所である。一時的な避難のため、少人数が避難できる小規模な公園などを指定している。
	【津波以外の災害時避難所】 (つなみいがいのさいがいじひなんしょ) 津波以外の災害（台風、地震、大雨など）のときに、避難する施設（建物）である。台風来襲時における各地区のコミュニティセンターをはじめ、大規模災害時の学校体育館などを指定している。
	【津波避難場所】 (つなみひなんばしょ) 津波来襲の可能性がある際にいち早く避難する場所である。大津波による浸水が予想される地区の高台などを指定している。(イユミーバンタ高台、西区コミュニティセンターなど)
	【津波避難ビル】 (つなみひなんびる) 津波来襲の可能性がある際にいち早く避難する高い建物である。町営水釜高層住宅を指定している。

危険区域・箇所の凡例

	【高潮浸水予想区域】 台風に伴う「吸い上げ」や「吹き寄せ」によって高波などによる越波により浸水する可能性のある区域である。
	【大津波浸水想定区域】 沖縄県において、東日本大震災を踏まえて調査・検討した浸水想定区域である(水釜で標高9.3m、津波到達時間25分が想定されている)。

4) 現在のゾーニング



	ゾーン	面積(m ²)
A	駐車場	5,410
B	駐車場および兼久体育館	5,230
C	テニスコート	5,220
D	元ゲートボール場	3,440
E	ウォーターガーデン	5,410
F	総合運動場	17,630
G	ソフトボール場	10,760
H	多目的広場	12,400
	その他(園路、道路など)	15,500
	合計	81,000

※面積は図上計測による

5) リニューアルの目的

課題	課題に対応したリニューアルの目的
海を感じさせるような整備が必要である。	来園者がもっと海を感じられるような公園となるよう変えていく。
うるおいある風景づくりが必要である。	もっと緑を増やし、来園者がうるおいを感じられるような公園に変えていく。
広く誘客できるような個性と魅力が必要である。	ここだけの魅力がある公園となるよう、機能や施設を追加していく。
幅広い市民の健康づくりへの貢献が必要である。	健康づくりの関連施設について、さらなる機能・施設の充実を進めていく。
周辺の施設との連携が必要である。	周辺施設との連携しつつ、公園の魅力を高めることで、来訪者が来たくなる場所に変えていく。
現状機能の確保と見直しが必要である。	現状を踏まえて、現在の機能を確認し、確保するもの、見直すものを分類し、機能の適正化を進めていく。
広域避難場所としての防災機能の強化が必要である。	体育館を中心に、防災拠点としての機能の強化・充実を進めていく。
アクセスの明確化が必要である。	来園者にわかりやすく、アクセスしやすいように改善を進めていく。
利用者動線を考えたゾーンの見直しが必要である。	ゾーニングの見直しにより、来園者がもっと移動しやすい公園に変えていく。
公園としての一体感が必要である。	ゾーン間のつながりを改善し、一体化を高め、公園全体としての魅力を高めていく。
施設の老朽化への対応が必要である。	老朽化の進んだ施設について適宜リニューアルを進めていく。
維持管理と耐久性を考えた整備が必要である。	海沿いの立地を踏まえ、できるだけ施設の耐久性が高く、維持管理しやすい公園としていく。

6) 整備方針と導入を検討する機能・施設

基本方針	もっと海を感じられる公園
整備方針	海を見たり、海で楽しんだりできるような場所をつくる。
導入する機能・施設	<ul style="list-style-type: none"> ■護岸のデッキ ■展望台 ■ビーチ ■釣り場 ■バーベキュー広場 ■海が臨める休憩所 ■ペDESTリアンデッキ ■海洋レジャー

基本方針	海と緑の風景が広がる公園
整備方針	海を眺めて休憩できる場所をつくとともに、園内の樹木や草花を増やす。
導入する機能・施設	<ul style="list-style-type: none"> ■樹木 ■樹林に囲まれた休憩所 ■四季の花が楽しめる庭園 ■もっと海を感じられる公園の機能・施設

基本方針	ふっと立ち寄りたくなる公園
整備方針	休憩したり、リフレッシュしたりできるような場所を増やすとともに、アクセスの改善や隣接する商業施設等との連携強化に取り組む。
導入する機能・施設	<ul style="list-style-type: none"> ■休憩所 ■飲食施設 ■歩きやすい園路 ■もっと海を感じられる公園の機能・施設

基本方針	地域を安全にする災害に強い公園
整備方針	地域の避難所となる体育館の防災機能を高めるとともに、災害時の避難場所として広場を確保する。
導入する機能・施設	<ul style="list-style-type: none"> ■体育館建て替えにあたっての防災機能の確保 ■災害対応トイレや貯水槽などの防災機能

基本方針	ここにしかないものがある公園
整備方針	町内唯一の施設や機能を確保する。
導入する機能・施設	<ul style="list-style-type: none"> ■体育館 ■常設ステージ ■使い勝手の良い体育館や広場 ■テニスコート ■もっと海を感じられる公園の機能・施設

基本方針	イベント会場としてたくさんの人が集まる公園
整備方針	イベントの開催に活用しやすい施設をつくとともに、必要な駐車場を確保する。
導入する機能・施設	<ul style="list-style-type: none"> ■常設ステージ ■使い勝手の良い体育館や広場 ■駐車場の確保 ■交通アクセスの改善

基本方針	維持管理しやすくいつでもきれいな公園
整備方針	より容易に維持管理できるような施設や機能を選択するとともに、安全性の確保や耐候性のある素材や植栽などに配慮する。
導入する機能・施設	<ul style="list-style-type: none"> ■設計・施工時での配慮 ■維持管理についての検討と体制の確保

基本方針	利用者のニーズに対応する公園
整備方針	意向調査やワークショップなど計画や設計段階で利用者の意見を反映させる。
導入する機能・施設	<p><意向調査より></p> <ul style="list-style-type: none"> ■遊具（子ども向け、健康遊具） ■室内運動場（子ども、個人利用） ■ウォーキング・ランニングコース ■夜間照明

基本方針	車でアクセスしやすい公園
整備方針	園内のどこへでも車でアクセスしやすいよう駐車場や園内通路を配置する。
導入する機能・施設	<ul style="list-style-type: none"> ■海岸沿いの駐車帯 ■園内道路幅員、配置整備 ■歩車分離のためのペDESTリアンデッキ

基本方針	バリアフリーでみんなが使いやすい公園
整備方針	誰もが使いやすいようにバリアフリーに配慮する。
導入する機能・施設	<ul style="list-style-type: none"> ■バリアフリー経路の確保 ■段差の解消 ■駐車場やトイレなどでの障がい者対応

基本方針	町民参加でつくりあげる公園
整備方針	計画や設計段階で利用者の意見を反映させるとともに、町民が整備や維持管理に参加できるようなものを考える。
導入する機能・施設	<ul style="list-style-type: none"> ■意向調査等の実施 ■検討ワークショップ等の開催 ■参画型維持管理組織の確立 ■公園活用会議等の開催

7) 配置する施設および設備の設定

○全体の整備範囲

- ▶海とのつながりを意識しつつ、公園が一体となるように整備を検討する。
- ▶入り江や車でのアクセスについても重視して、整備を検討する。

①体育館

- ▶兼久海浜公園内で移転し、建て替えを実施する方向で検討する。
- ▶特定の競技に対する要望はないが、ここにしかない公園の魅力となりうるものであり、今後の検討課題としておく。
- ▶個人利用のニーズが高いため、今後の検討課題としておく。
- ▶地域防災計画で「津波以外の災害時避難所」に位置付けられており、建て替えの際には、防災機能の付加が望まれる。
- ▶アリーナは 21m×38m、建築面積が 1,350 m²、延床面積が 1,600 m²程度を想定して、施設配置を検討する。

②テニスコート

- ▶コート内の再整備については、今後の検討課題となる。
- ▶盛り土を除去するなど、より開放的なコートにできるかを検討する。
- ▶公園内のほかの位置に移転させることや、兼久海浜公園内に位置させる必然性が低いため、中学生が利用しやすい位置など公園外への移転についても検討する。

③多目的広場

- ▶フットサルやグランドゴルフでの活用など、改変が許される範囲内で、有効活用方策について検討する。

④屋内施設

- ▶機能を導入する場合は、体育館の別棟とするか、体育館内に室を設ける形とするか検討する。
- ▶園内に施設を設けるだけでなく、隣接する商業施設の資源を活用し、利用者の利便性を確保する必要がある。公園内に必要だと思われる機能の導入を検討する。

⑤その他

- ▶休憩所では、屋根に限らず、日陰ができる方法を検討する。
- ▶ネーブルカテナとの間の道路では、今後、事業者側と調整が必要である。
- ▶遊具広場の設置を検討する。
- ▶護岸をデッキにするかどうかは基本計画に委ねる。
- ▶ビーチは、今後の発展を鑑み、検討項目として必要である。
- ▶マリンスポーツ・ヨットハーバー等について、今後の発展を鑑み、検討項目として必要である。
- ▶その他の海洋レジャーについても幅広く検討する。

8) 基本構想でのゾーニング案

		案 1	
ゾーニング図			
ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場 (移転) ● 体育館 (移転) ○ テニスコート ○ ウォーターガーデン 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合運動場 ○ ソフトボール場 ○ 多目的広場・展望広場 ● 海の広場 	<ul style="list-style-type: none"> ● 遊具広場 ● 中央広場 × 3on3・壁打ち × ゲートボール場
機能	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">■ 大型遊具 (遊具広場) <li style="width: 50%;">■ 親水機能 (海の広場) <li style="width: 50%;">■ 樹木や花 (中央広場) <li style="width: 50%;">■ 海の回廊 (護岸) <li style="width: 50%;">■ 海を眺められる休憩所 (海の広場) <li style="width: 50%;">■ ランニングコース <li style="width: 50%; text-align: right;">etc... 		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ■ 整備箇所を絞り込んで整備している。 ■ 現状に対する利用者の満足度が高いため、大きな変化をさせない。 		
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ■ 改変範囲は狭く、案2より事業費が少なくすむ。 ■ 事業費を抑えながらも、必要な機能を確保することができる。 ■ 整備時に利用できない施設が少なく、既存利用者への影響が少なくすむ。 		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ■ テニスコートで分断される形になるため、内部をうまくつなぐ必要がある。 ■ 移転先の体育館で周辺環境への配慮が必要である。 ■ 体育館の位置が公園の中心から離れるため、管理機能の位置をどうするかについて、検討する必要がある。 		

		案2	
ゾーニング図			
ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場 (移転) ● 体育館 (移転) ● テニスコート (移転) ○ ウォーターガーデン 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合運動場 ○ ソフトボール場 ○ 多目的広場・展望広場 ● 海の広場 	<ul style="list-style-type: none"> ● 遊具広場 ● 中央広場 × 3on3・壁打ち × ゲートボール場
機能	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大型遊具 (遊具広場) ■ 樹木や花 (中央広場) ■ 海を眺められる休憩所 (海の広場) ■ ランニングコース ■ 親水機能 (海の広場) ■ 海の回廊 (護岸) etc... 		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国道側駐車場から海まで、一体的に施設を配置している。 ■ 整備を抑えつつ、全体の魅力の向上を図ることができる。 		
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公園として一体的な配置を考えることができる。 ■ 体育館が中央に位置しており、公園の中心として機能させやすい。 ■ 体育館に管理機能を付加させた場合、位置的に公園全体の管理がしやすい。 ■ 案1より中央広場を広くとることができる。 		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 体育館だけでなくテニスコートが使えない時期が発生する可能性があるため、整備の順序を考えるなど、影響を少なくするよう考える必要がある。 ■ 体育館が空間の分断や周辺への圧迫感などに影響がないよう、形状や配置を検討する必要がある。 ■ 移転先のテニスコートで周辺環境への配慮が必要である。 		

9) 今後の検討事項

① 体育館

- アリーナ面積はどの大きさが適切なのか
- 観客席をどの程度設けるのか
- 特色として専門性を高めた施設にするかどうか。
- 防災機能として何を付加するのか

② テニスコート

- 位置を「現在の位置」、「公園内の他の位置」、「公園外」のどこに設けるのか
 - 面数は4面で妥当かどうか
- < 現位置のままの場合 >
- コート内の再整備を行うのか
 - 盛り土を除去するなど、より開放的なコートにできるかどうか

③ 多目的広場

- フットサルやグラウンドゴルフでの活用や遊具や休憩施設の設置など、改変が許される範囲内で、こういった有効活用方策が考えられるのか

④ 屋内施設

- 「個人で健康づくりに利用できる室内施設」と「子どもが遊べる室内施設」について、導入するかどうか
- 機能を導入する場合は、体育館の別棟とするのか、体育館内に室を設ける形とするのか
- 隣接する商業施設の資源や町民意向等を踏まえ、公園内に必要だと思われる屋内施設はないか（例えば、物販、飲食など）

⑤ 休憩施設

- ベンチと日陰のある休憩施設をどこに配置するのか
- どういった方法で日陰をつくるのか

⑥ ネーブルカテナ側道路

- 園内へのアクセス道路として活用するかどうか
- ネーブルカテナ側の意向はどうか

⑦遊具広場

- どの程度の規模とするか
- どういった遊具を配置するか
- 大人向けの健康遊具を配置するかどうか

⑧海との関係

- 「海を眺める広場」をどういった場所にするか
- 護岸整備において、デッキを設けるか
- ビーチやマリンスポーツ、ヨットハーバーなど新たな海洋レジャー施設を配置するかどうか

⑨施設全体について

- どこにどういった種類の樹木や花を植えるか
- トイレや照明の数は適切か
- 体育館以外でどういった防災機能を確保するのか
- イベント開催に活用しやすいような整備を行うかどうか
- 維持管理しやすく耐久性にすぐれた施設・設備が導入できるか
- バリアフリーにどこまで対応するのか
- どのタイミングで施設整備を図るのか、施設整備の優先度はどうなるのか

⑩ゾーニング等について

- 体育館の位置をどうするか
- テニスコートを移動させるかどうか
- 駐車場の位置をどうするか
- 車両をどこまで乗り入れさせるのか
- 公園としての一体感を感じさせるようにどうゾーンの連携を図るのか
- 管理車両、歩行者、ランニング・ウォーキング利用者、バリアフリー経路などの動線をどうするのか
- アクセスの経路をどうやって明確に示し、誘導するのか

2. 関係者等ヒアリングの概要

リニューアルにあたり、観光的視点や体育施設としての活用を踏まえて、関係者等へのヒアリングを実施した。その内容と結果の概要を整理する。

1) 関係者等ヒアリングの実施概要

- 実施期間 : 2016年1～2月
 実施件数 : 10件（観光やスポーツ、イベントに関係する団体や企業関係者など）
 実施方法 : これまでの検討概要を説明後、各専門分野を中心に意見をいただいた。

2) ヒアリング結果の概要

これまでのヒアリング結果の要点について、ワークショップゾーニング案や観光視点などにおける良い点と改善点、要望等に分類し、その対応を検討する。

公園全体	良い点	<ul style="list-style-type: none"> 海の近くなので、スポーツを楽しむ人にとっては最高のロケーションだと思う。
	改善点	<ul style="list-style-type: none"> 町民のためか、観光のためかなど、コンセプトを明確にする必要がある。 県内他公園の同種施設との競合に打ち勝つ必要がある。 公園へのアクセスをもっとわかりやすくする。 照明は、夜間でも安全に利用できるよう、増やしたほうがよい。 園内に車両が通ることで防犯になると考える。 木陰が少ないので増やしたほうがよい。 植栽を増やしてほしい。 植栽は環境に適した樹種を選ぶ必要がある。また、生態系を豊かにすることも大切である。 維持管理にかかる予算等も見据えて、整備するか判断したほうがよい。 浮浪者対策は、根本的な問題から解決する必要がある。
	要望等	<ul style="list-style-type: none"> 町民の健康づくりに使いやすい公園にしてほしい。
駐車場	良い点	—
	改善点	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場が不足している。 過去に2万人規模のイベント誘致の話もあったが、駐車場の問題で他市町村へ譲るかたちになった。観光で集客が増えた場合、駐車場の不足は必ず発生する問題だと思う。 沖縄に訪れる観光客は、現状として団体での移動が多いため、バスが複数台停められる駐車場が必要である。
	要望等	—

体育館	良い点	—
	改善点	<ul style="list-style-type: none"> • 体育館を利用できない期間が発生するため、現位置での建て替えは避けたほうがよい。
	要望等	<ul style="list-style-type: none"> • 現在の大駐車場の位置がよいのではないか。 • 体育館はバスケットフルコートがとれる規模がよい。 • 体育館を下駄ばきにして、下に駐車場を整備してはどうか。 • 体育館は避難場所にもなるように整備してほしい。 • トレーニングルームや卓球コートが1面確保できる多目的室があるとよい。
テニスコート	良い点	—
	改善点	<ul style="list-style-type: none"> • テニスコートを現在の大駐車場に移転する場合は、音・照明対策を行い近隣住民の迷惑にならないよう配慮する必要がある。 • テニスコートは風対策を行い、テニス以外の目的では使用しないほうがよい。
	要望等	<ul style="list-style-type: none"> • テニスコートを屋内運動場にできないか。
バーベキュー広場	良い点	<ul style="list-style-type: none"> • 体育館でイベント等が終わった後に、懇親会の場所としてバーベキュー広場が使えるとよい。 • 町にバーベキュー施設がないので、整備されれば交流の場になりえる。
	改善点	<ul style="list-style-type: none"> • バーベキュー広場を設置する場合、駐車場に近いということが必須である。 • バーベキュー広場の衛生管理、マナー管理をしっかりとしてほしい。 • 規模が小さいのではないか。東屋の数で集客が変わると思う。 • 渡具知ビーチとの競合に留意が必要である。
	要望等	—
ビーチ・マリンスポーツエリア	良い点	<ul style="list-style-type: none"> • 入り江は波が穏やかで安全にマリンスポーツができる場所となると考えられ、昔からあるホテルのビーチや宜野湾トロピカルビーチで扱われているスポーツメニューが適していると思う。 • 観光客をターゲットにするならば、フライボードやダイビング練習などのマリンスポーツメニューが適していると思う。
	改善点	<ul style="list-style-type: none"> • ビーチやマリンスポーツはよく考えたほうがよい。 • ビーチの砂の補充など維持が大変ではないか。 • ビーチを整備するのであれば、潮の満ち引きを考慮してバーベキュー広場の内側から整備したほうがよい。 • 親水整備は階段などの人工物よりも砂のほうが安全である。 • マリンスポーツエリアを整備するためには、入り江の水質の状況から適したスポーツを選ぶため、水質調査等入り江の状況を調査したほうがよい。 • カヤックの格納庫などの設備が必要である。 • 遊泳区域とするためには、安全管理を十分に行うための体制を整える必要がある。
	要望等	—

多目的広場	良い点	—
	改善点	<ul style="list-style-type: none"> 多目的広場は奥まっており、遊具など学生が利用する施設を整備してしまうと管理の目が行き届かずたまり場になる恐れがある。 多目的広場については、花火の打ち上げの使用にも留意する。
	要望等	<ul style="list-style-type: none"> 多目的広場をパークゴルフ等ができるように整備し、日中に高齢者が運動できる場所となしてほしい。
ストリートワークアウト	良い点	<ul style="list-style-type: none"> 遊具を分散して配置するよりも、集中して配置するほうが運動効果上がる。
	改善点	—
	要望等	<ul style="list-style-type: none"> ストリートワークアウトの遊具は、鉄棒、平行棒、雲梯棒があればよく、できる限り簡素な作りがよい。複雑な遊具ほどけがのリスクが増える。
その他のゾーン	良い点	<ul style="list-style-type: none"> 幅員の広い園路を活用して、バイク・サイクルのイベントが開催できる。
	改善点	<ul style="list-style-type: none"> イベント会場としては、総合運動場が確保されていればこれまで通りのイベントが開催できる。一方、ゾーン分けがされていなければ小さな規模のイベントには不向きである。
	要望等	<ul style="list-style-type: none"> ソフトボール場を野球でも利用できるようにあと 10~15m ほど延ばせないか。もし可能であればキャンプ等で使用したいという球団もある。 ランニングコースの傾斜や段差を解消してほしい。 ランニングコース周辺に植栽があるとよい。 ランニングコースに距離表示をしてほしい。
公園の観光要素	良い点	<ul style="list-style-type: none"> サンセットは魅力である。 修学旅行生の平和学習などで、嘉手納飛行場の現状を観察し、その後バーベキュー広場で食事をするなどができるとうい。
	改善点	<ul style="list-style-type: none"> 町民は利用しやすそうだが、観光の魅力は弱い。 観光客をひきつけるシンボルがない。 ここにしかないものが必要である。それは「芋の植栽」などお金がかからないものでもよい。 可能であれば、飲食店やスパ・温浴施設を立地させるのも魅力となる。 スポーツメーカーや飲食店などの企業とタイアップすると観光要素が増すと思う。 地元と観光客の関わりも考える必要がある。 インストラクターによるスポーツイベントやワークショップを開催してはどうか。スポーツやアウトドア体験ができる場所として有名になると観光でも誘客が可能になると思う。
	要望等	<ul style="list-style-type: none"> 一括交付金を活用するのであれば、国際水準の観光機能を目指してほしい。

観光ターゲットと誘致手法	良い点	<ul style="list-style-type: none"> • 空港と恩納村など嘉手納以北ホテルとの間の立ち寄りに適した立地である。
	改善点	<ul style="list-style-type: none"> • 観光については、ビジョンを持つことが大切である。 • 観光の場合、スポーツ、小さい子ども、ペット連れ、高齢者、キャンプの個人練習などターゲットを絞り、明確にする必要がある。 • スポーツ観光については、「競技に特化」と「営業力」が必要となる。 • 金をかける広報よりも口コミが重要である。 • イベントは起爆剤となるが、効果は限定的であり、費用対効果は低い。増やしすぎるのはよくない。 • 団体客向けのものとして、修学旅行のハーリー体験や平和学習、チームビルディングイベントなどが考えられる。 • インバウンドとしては、中国人向けの「米軍機見学」、「琉球プロレス」が考えられる。 • まず、事例をつくる。そこから広がる。
	要望等	—
周辺施設との連携	良い点	—
	改善点	<ul style="list-style-type: none"> • 50万人が立ち寄る道の駅があるので、公園の集客に活用するべきである。 • ネーブルカテナやマリーナとの連携が必要である。 • ネーブルカテナとしては、公園に隣接しているというロケーションに魅力を感じている。 • ネーブルカテナの今後の展望として、「遊び」をコンセプトに、アウトドア全般のショップを揃え、体験もできる施設にし、観光客にも足を止めてもらえる場所にしたい。その上でロケーションを一体化させることは必須と考えている。将来的には宿泊施設も考えている。 • 水釜護岸とあわせて兼久海浜公園も利用できればよい。
	要望等	—

3. 住民ワークショップの概要

町民を対象に、兼久海浜公園が抱える問題課題等を把握し、リニューアルに向けた方向性を確認するためのワークショップを3回開催した。その内容と結果の概要を整理する。

1) ワークショップの開催概要

開催日時	参加人数	主旨
第1回 平成27年10月24日(土) 13:30~16:00	23人	<u>「兼久海浜公園のよいところ・よくしたいところ」</u> 現地視察を行い、現状のよいところと今後整備が必要なところ、付加してほしいことなどの意見を収集する。
第2回 平成27年11月11日(水) 19:00~21:00	20人	<u>「どんな公園にしたいか考えよう」</u> 基本構想ゾーニング2案をもとに、グループゾーニング案を作成する。
第3回 平成27年11月25日(水) 19:00~21:00	23人	<u>「公園に何が必要か考えてみよう」</u> グループゾーニング案よりワークショップゾーニング案を決定し、それについて付加したい機能を検討する。

2) 第1回ワークショップ概要

①プログラム

1 開会あいさつ
2 兼久海浜公園の発見・探検調査
3 グループ検討の進め方についてと計画地の概要説明
4 グループ検討 <ul style="list-style-type: none">・兼久海浜公園の現況でのよいところ・兼久海浜公園のよくしたいところ・検討結果の発表
5 閉会あいさつ

②主な意見

よ い と こ ろ	<ul style="list-style-type: none"> 敷地が広い。 運動施設が多く、利用率も高い。大人も子どもも遊べる。 ロケーションがよい。夕日がきれい。海を感じられる。海を見ながら運動ができる。 よく整備されている。水道・ベンチが多い。ホームレスがいなくなった。 ウォーターガーデンはきれいで明るく、子どもたちが遊べる場所になっている。 園内道路が広くフラットで歩きやすい。護岸でウォーキングができ気持ち良い。
よ く し た い と こ ろ	<ul style="list-style-type: none"> 日陰が少ない。緑を増やしてほしい。季節を感じられる植栽をしてほしい。 遊具がほしい。 照明が少ない、夜が暗くて不安になる、夜でも安心してウォーキングできるようにしてほしい。 管理事務所がない。奥のほうに警察の立ち寄り所などを設置してほしい。 障害者への配慮が必要。 スポーツ目的でしか公園を利用できない。 ロケーション等を活かしたBBQ設備、施設の整備。 イルミネーションなど冬場も活用してほしい。 駐車場の台数が少ない、位置が遠い。駐車場にトイレがない。 エントランスが目立たない、メインストリートをつくってほしい。 体育館が老朽化している、大きな規模に建て替えてほしい、2階建てでジムなどの設備がほしい、屋上駐車場を設置してほしい。 入り江の転落防止柵を設置してほしい、救命具の設置をしてほしい。 入り江でシーカヤックなどのマリンスポーツが楽しめるとうよい。 ペット連れや釣り人など利用者のマナーを適切にしてほしい。 ウォーキングコースに距離表示をしてほしい、足にやさしい舗装をしてほしい、フラットにしてほしい、コースをつなげる・延長してほしい。 多目的広場でBBQ・キャンプを楽しんだり、遊具で遊んだりできるとよい。 多目的広場でグラウンドゴルフなど同時に利用できる活動で有効活用してほしい。 園内に売店がないため、ネーブルカテナなどに行きやすいルートがほしい。 ドッグランやロッククライミングができるとよい。

<求められる公園のすがた・整備のあり方> ◆：公園のすがた ◇：整備のあり方

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| ◆スポーツのできる公園 | ◆誰でも使える公園 |
| ◆観光要素がある公園 | ◆豊富な緑・日陰のある公園 |
| ◆公園のテーマ | ◆セキュリティ・マナーの向上、夜間の安全性 |
| ◇エントランス整備 | ◇広くて近い駐車場、駐車場内トイレ |
| ◇体育館の改修、必要性 | ◇3on3コート改修 |
| ◇マリンスポーツ・釣りを楽しめるきれいな入り江 | ◇ゲートボール場の必要性、トイレ設置 |
| ◇憩い歩きやすいコース | ◇大人も子どもも楽しむ遊具 |
| ◇BBQ・キャンプ整備 | ◇広々とした憩える広場 |
| ◇景色を楽しむ | |

3) 第2回ワークショップ概要

①プログラム

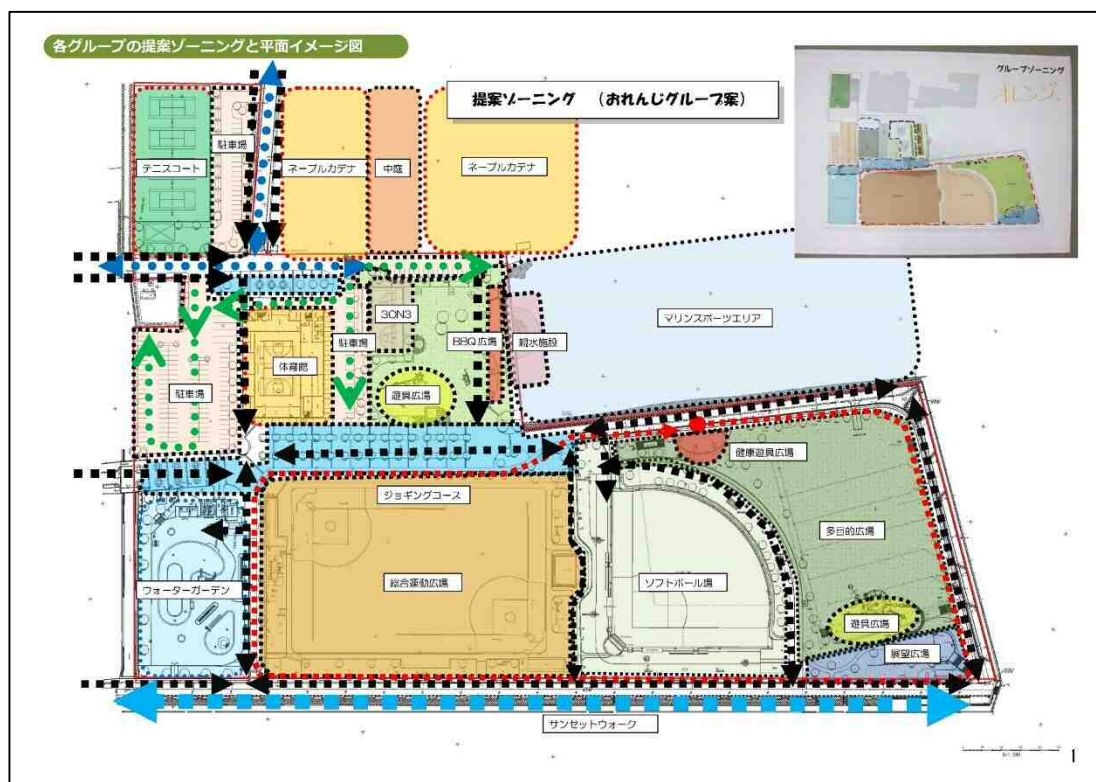
- 1 開会あいさつ
- 2 第1回の意見まとめ・基本構想ゾーニングについて
- 3 グループ検討の進め方について
- 4 グループ検討
 - ・優先順位を決めよう
 - ・私の考えるゾーニング
 - ・私の考えるゾーニング発表・グループまとめ
 - ・各グループ発表
- 5 閉会あいさつ

②ゾーンの優先順位（上位 15 位）

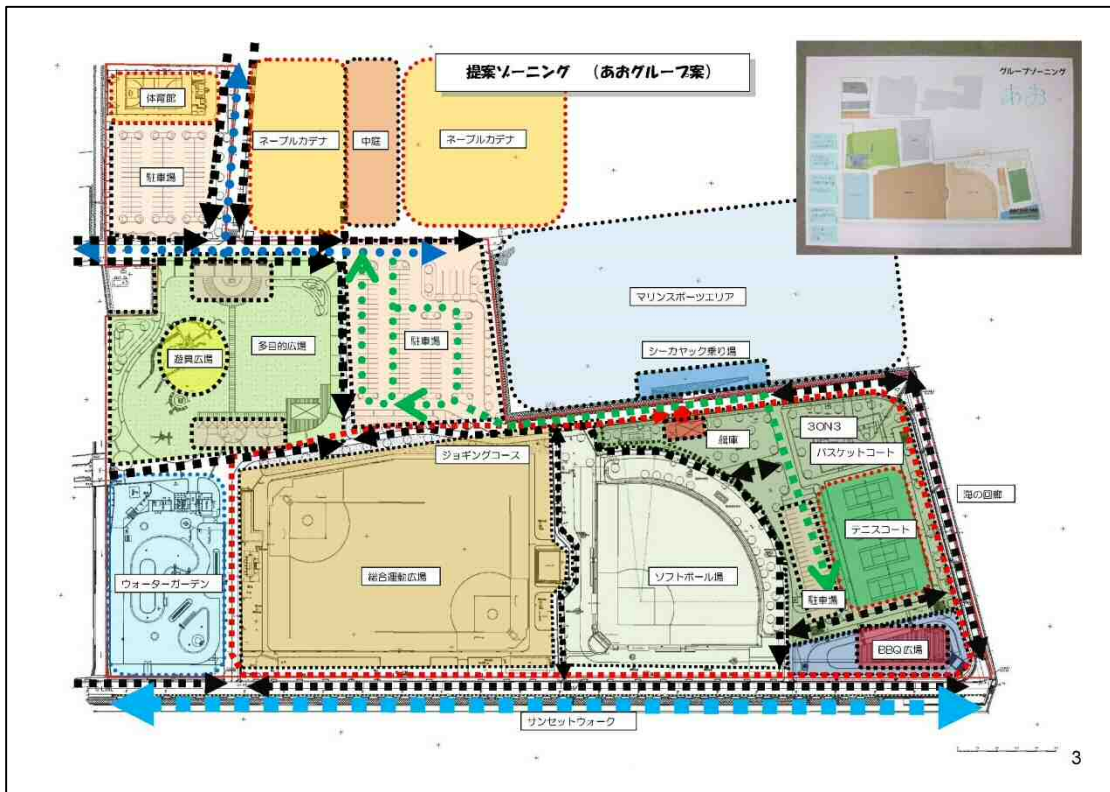
1位 駐車場	2位 総合運動場	3位 体育館
4位 多目的広場	5位 ウォーターガーデン	6位 遊具広場
7位 ソフトボール場	8位 テニスコート	9位 砂浜
10位 3on3	11位 展望広場	12位 BBQ広場
13位 ストリートワークアウト	14位 マリンスポーツ広場	15位 エントランス広場

③提案ゾーニング

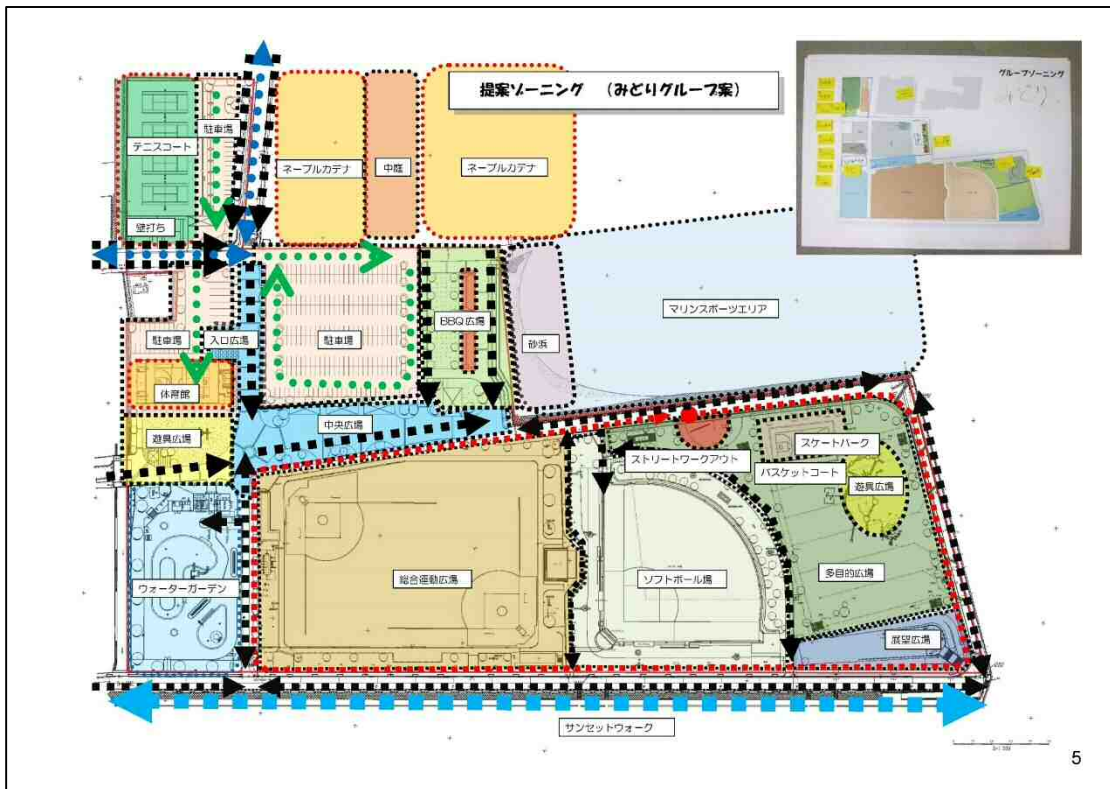
<おれんじグループ>



<あおグループ>



<みどりグループ>



4) 第3回ワークショップ概要

①プログラム

1 開会あいさつ
2 ゾーニングの決定
3 グループ検討の進め方について
4 グループ検討
・自己紹介シート記入
・「交流」「健康」「安心・安全」の機能の検討
・各グループ発表
5 閉会あいさつ

②ワークショップゾーニング案の決定

おれんじグループ案	6票	あおグループ案	5票	みどりグループ案	11票
-----------	----	---------	----	----------	-----

投票の結果、第3回のワークショップでは、みどりグループのゾーニングについて、「交流」、「健康」、「安心・安全」の機能の検討を行った。

③主な意見

<公園全体>

区分	意見
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄らしさを出した公園 ・近隣公園との差別化 ・海外では公園・鉄棒などがファッションアイテムになっている、その考えを兼久海浜公園にも取り入れられないか ・日が暮れても危なくない公園 ・見通しのよい、死角のない、目線が行き届く公園
安心・安全機能	<ul style="list-style-type: none"> ・埋設型の緊急貯水槽の設置 ・管理事務所の設置・増設 ・警備員の常駐、自転車に乗った警備員の巡回、警察の立ち寄り所 ・照明の設置（ソーラー街灯、青色LED、照明の有効活用（人が集まって防犯になるような照明の配置や光彩など）） ・見通しをよくするため設備や工作物は体育館より低くおさえる ・浮浪者のたまりにくい仕組み、屋根付きの寝られるベンチは設置しない ・防犯カメラを設置し管理人がモニターでチェックできるようにする ・いたるところにAEDを設置する ・未成年がたむろしないよう深夜にモスキート音を流す ・子どもに恐怖感を与えるため、大型ペットは規制する

区分	意見
遊具機能	<ul style="list-style-type: none"> ・大人も子どももゆっくり過ごせる建物（木のおもちゃがあるなど） ・ストレッチ器具など中高年用の健康遊具の設置 ・年齢に合わせた筋トレができる健康遊具の設置 ・のぼり棒、すべり台の設置 ・アスレチック遊具の設置 ・スポーツインストラクターや先生の配置
イベント機能	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントが開催しやすい場所と設備の整備 ・競技大会ができる施設規模の確保 ・イベントの誘致・開催（やきいも大会、フリーマーケット、定期的なウォーキングイベント、野菜や花などの市場、家族で楽しめるスタンプラリー・宝探し、観光客と交流できるスポーツイベント、スポーツ大会、大みそかのカウントダウン、イルミネーション、海の事故の訓練教室）
バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ・手すりの設置や車いすでも移動しやすい整備など障がい者への配慮 ・道路の舗装は突っかかりがないように丁寧に舗装する ・車いすの貸し出し
公園周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・水釜沖にパヤオの設置 ・ネーブルカテナとの連携
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・夕日が見えるカフェ、パーラー、売店などの飲食店の設置 ・各施設のいもっち化 ・東屋の設置（緑や木は維持管理が大変だから） ・いもっちに関する食べ物の販売 ・各ゾーンに時計の設置 ・外国語に対応した案内看板など外国人でもスポーツができる整備 ・公園全体の管理体制の徹底

<部分>

区分	意見
駐車場・道路	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコートからBBQ広場までの歩道を確保する ・ネーブルカテナとの動線を確保する ・駐車場から子どもが飛び出さないよう柵を設置する
体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館をもっと大きくする ・健康管理できる設備（体力測定、体調チェック） ・スポーツマシンやジムなどの設備 ・舞台 ・プール ・ボルダリング ・フットサルコート

区分	意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒にいられる待合室（絵本コーナーなど） ・位置の再検討 ・高さを出すなどして津波対策を施し緊急避難場所として活用できる
テニスコート	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコートをオムニコートにする ・高めのフェンスを設置する
総合運動場	<ul style="list-style-type: none"> ・野外コンサートができる施設の検討 ・最初からイベントが管理できる施設、イベント用の電光整備 ・柵を設置する ・ゴミ箱の設置、またはアイスクリームマシンの撤去
ソフトボール場	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントにも利用できるように一部屋根を設置する ・ピッチングマシンを設置する ・柵を設置する
展望広場	<ul style="list-style-type: none"> ・海を見ながらヨガ、ストレッチ、筋肉トレーニングができる ・ヨガマット等が敷ける場所が必要 ・芝そりができる斜面にする ・展望広場の下に備蓄倉庫を設置する
ウォーターガーデン	<ul style="list-style-type: none"> ・大人向けパーティーイベント ・基地と町の子どもの語学交流
多目的広場	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントやミニライブなどができる舞台をつくる ・管理などは一番奥に設ける ・ゴルフパターコースをつくる ・スケートボード場 ・フットサルコートを整備する ・大型犬も可能なドッグランを整備する ・奥のほうに防犯ベルや電話、防犯ブザーなどを設置する ・防風林を植えるなど津波や台風時の対策を行う ・水飲み場を設置する
ウッドデッキ	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォークデッキ、ベンチを設置する
遊具広場	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具広場は1か所にする ・子ども向け遊具 ・ゴムチップマット舗装 ・赤ちゃんや小さい子連れの家族も安心して遊べる、年齢別の遊具や広場の配置
BBQ広場	<ul style="list-style-type: none"> ・目線の通る場所に管理棟を設置する ・外語塾の生徒に協力してもらうなどしてBBQで外国人との交流 ・イベント、BBQ大会 ・キャンプ

区分	意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ストリートダンス ・ヨガや太極拳
中央広場	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな屋根など屋根付きの休憩所を設置・増設する ・モニュメントを設置する ・管理・イベント車両の進入経路見直し ・道路からの入口付近に掲示板を設置する ・無料イベントやフリーマーケットなどを開催する ・入口付近に防犯カメラを設置する ・人がよく通る場所にマナー注意書きの看板を設置する
砂浜	<ul style="list-style-type: none"> ・日本初、砂浜に鉄棒や平行棒（ストリートアスレチック）を設置する ・遊泳できる場所 ・ボルダリング ・水難事故対応のためのライフセーバーやうきわ、AEDなどの救命機能や看板の整備
マリンスポーツエリア	<ul style="list-style-type: none"> ・マリンスポーツを充実させる ・シーカヤックやSUP（スタンドアップパドル）ができる整備をする ・屋外シャワーや足洗い場などを整備する ・遊覧船、ガラスボート ・クラゲ防止ネットの設置
サンセットウォーク	<ul style="list-style-type: none"> ・水釜護岸との一体的なウォーキングロードを設置する ・シェルターを設置する ・高木を増やす、海岸側にヤシの木などの植物を植える ・海岸浴
ランニングコース	<ul style="list-style-type: none"> ・距離表示 ・膝にやさしいゴムチップ舗装、ゴムチップ舗装をもう少し広くする ・埋立1号線との連結 ・短距離走ができるコース ・足つぼロード ・バイクコースの設定と曲がり角などの安全確保、専用コースの設定 ・ゴムチップ舗装とアスファルトの段差をなくす
ストリートワークアウト	<ul style="list-style-type: none"> ・健康遊具、鉄棒・うんてい棒 ・健康遊具、鉄棒などの遊具に屋根を設置する ・子ども連れなどが揃って運動できるように鉄棒の幅を広くする ・鉄棒や平行棒などは、けがリスク防止のためシンプルなものにする ・器具の使用方法の指導につながるため、子ども用遊具と大人用健康遊具は隣接させる

区分	意見
大型遊具広場	<ul style="list-style-type: none"> • 多世代交流をしやすくする、大人が子どもに運動の手本を見せるために ストリートワークアウト（健康遊具）と子ども用遊具を併設させる • シンボルとボルダリングを兼ねた巨大いもっちの遊具を設置する • ジャングルジムや迷路などで構成された超大型遊具を設置する • 遊具の下は砂舗装にする • 砂があると犬猫の糞が多くなる
バスケットコート	<ul style="list-style-type: none"> • 歩行者などにボールが飛んでいかないように 3m ほどのフェンスを設置する
釣りエリア	<ul style="list-style-type: none"> • 釣り場やパヤオの設置 • 釣り大会 • 安全な釣り場 • 釣りをする場所は決める（禁止区域を設ける）

④ワークショップで決定したゾーニング



4. その他関係事項の整理

1) 観光整備のイメージの整理

海を活かした誘客	
入り江を活かし、公園と一体となったマリンスポーツ空間整備を行う。 シーカヤック等の活動空間とする。 その他マリンスポーツの教室を開催する。	嘉手納マリーナと連携した栈橋の設置を行い、入り江の利活用を行う。 嘉手納マリーナからの中継栈橋を設置し、シーカヤック等の基地とする。
既設堤防部をボードウォークデッキに改修し、入り江の景観と一体となった景観整備を行う。	入り江の景観を活かし、ビーチパーティー等ができる空間整備を行う。 ネーブルカテナとの連携により利用者への対応を行う。

遊ぶ・楽しむ場所としての誘客	
公園のシンボルとなる大型遊具を配置し公園奥への誘導を図る。	駐車場やウォーターガーデンに近い位置に遊具広場を設置し、特に小さい子どもが楽しめる機能の充実を図る。
健康遊具を設置し、ランニングコースと連携して健康づくり機能が充実した空間整備を行う。	

運動施設を活かした誘客	
ソフトボール場を活かし、ソフトボールに特化したキャンプ合宿の誘致を行う。 定期的に試合を実施し、沖縄のソフトボールの聖地とする。	総合運動場の遠路と外周のランニングコースを連結する。 既設の野外ステージを活かし、多様なイベントを開催する。
テニスコートの利用拡大のため、屋根の導入を検討する。 観客席を整備し、合宿や大会に活用しやすいように整備する。	体育館を改築し、町の屋内スポーツの拠点としての機能を高める。 各種大会が開催できるような規模と機能を確保する。

2) 近隣の公園の参考事例

	<p>社会福祉協議会の屋上がテニスコートになっている。 【南風原町 黄金森公園】</p>	
		<p>遊具が芝生広場に設置されている。【南風原町 黄金森公園】</p>
		<p>健康遊具コーナーがある。 【南風原町 宮城公園】</p>
		<p>日陰のある大型遊具がよく利用されている。【県営中城公園】</p>
	<p>海沿いにボードウォークが設置されており、休憩施設がある。【北谷町 砂辺馬場公園】</p>	

3) 津波避難ビルについての整理

【町地域防災計画】

(3) 本町に甚大な被害をもたらす津波想定結果（最大級の津波想定）
 本町に甚大な被害をもたらす津波（最大級）として、「沖縄県津波被害想定検討結果（平成 25 年 1 月）」で想定される津波は、水釜において地震発生後 25 分で津波が到達し、最大遡上高 9.3m にまで達する。

■ 津波遡上高及び到達時間等（最大級の津波）

	代表地点	沿岸の津波最大水位 (m)	最大遡上高 (m)	津波到達時間 (分)
嘉手納町	水釜	6.3	9.3	25

資料：沖縄県津波被害想定検討結果（平成25年1月28日）

2 沿岸部の海拔が低い地区住民等への防災対策

本町の沿岸部地区においては、海拔 5m 未満の箇所があり、発生頻度の高い津波の想定結果では地震発生から 25 分程度で標高 3.8m の場所まで津波が遡上することが予測されている。また、最大クラスの津波については、水釜に 25 分程度で標高 9.3m の場所まで津波が遡上することが予測されていることから、少なくとも海拔 10m 以上のより高い場所へ津波到達時間内に避難できるように、以下の津波避難対策を進める。

- ア 最大クラスを想定した津波ハザードマップの整備、町民及び学校等における防災教育及び津波避難訓練の実施
- イ 津波避難計画の作成をはじめ、浸水想定区域の学校、医療機関及び福祉施設等の津波避難マニュアルの作成支援
- ウ 津波避難ビルの確保をはじめ、必要に応じて津波避難タワーや避難路、がけ地の避難階段の整備
- エ 海拔高度図を活用した公共施設等への標高や津波避難場所の標高設置
- オ 避難誘導者及び避難支援者等の安全確保対策

2 津波に対する警戒避難体制・手段の整備

区分	実施事項
① 住民等に対する情報伝達体制の整備	本町における津波危険地域及び住家に対し、地震情報や津波警報等を自動的に伝達するシステムの導入等、迅速な情報伝達体制の確保に努めるものとする。
② 監視警戒体制等の整備	津波危険に対し、予報・警報等の把握、海岸地域及び河口付近の監視装置の設置等、監視警戒体制を整備する。
③ 避難ルート及び避難ビルの整備	ア) 避難距離の長い避難ルートの見直し イ) 避難ルート・避難場所案内板の設置 ウ) <u>津波危険予想区域内の公民館等の公共施設及び、津波避難に有効な機能の付加整備を推進する。</u> また3階以上等の民間建築物等の活用及び個別住宅等における津波発生時の一時避難所の使用協定及び機能付加について検討を図る。

(2) 避難計画の留意点

ア 徒歩避難の原則

津波発生時の避難は、徒歩を原則とする。このため、自動車免許所有者に対する継続的な啓発を行うなど徒歩避難の原則の周知に努める。

ただし、避難困難区域や災害時要援護者の避難支援者等で、避難所要時間が5分または津波予想到達時間を越えるなど自動車等の利用が不可欠な場合においては、避難者が自動車等で安全かつ確実に避難できることを確認した上で、徒歩以外の避難手段を設定する。この場合、警察機関との十分な調整を図るとともに、各自治会との合意形成、津波避難路であることを周知する標識の整備、津波発生時の行動の周知等を徹底し、自動車避難に伴う危険性の軽減策を徹底する。

(3) 避難ルート及び避難ビルの整備

ア 避難距離の長い避難ルートの見直し

津波到達時間が短い地域では、概ね5分以内のルートを目標とし、地形、土地利用から5分以内が困難な場合は、最大級の津波到達予測時間の25分を目安として、10m以上の高台へ避難できるよう検討する。また徒歩避難を原則とし、避難路、避難階段を整備し、住民等に周知する。整備にあたっては、地震による段差の発生、避難車両の増大、停電時の信号減灯等を想定し、渋滞や事故のないようにする。

イ 避難ルート・避難場所案内板の設置

観光客等、現在地の地理に不案内な者でも速やかに身近な津波避難場所へ移動できるよう、外国人等にもわかりやすい避難誘導サインの設置をする。

ウ 津波避難ビルの整備等

津波避難困難区域等、身近な高台等が少ない地区では、公共施設のほか民間建築物等の活用も含めて津波避難ビルの指定や整備を促進する。これらの指定や整備にあたっては、想定浸水深や建築物への衝突による水位上昇を考慮し、十分な高さや構造避難スペースが確保されるように努める。また、津波到達時間内に避難できる高台やビル等が存在しない地区では、一時的に緊急避難する盛土による高台や津波避難タワーの整備等を検討する。

〈地区別の避難指定〉

(平成25年6月末時点人口)

行政区 (人口)	避難場所		避難		津波		名称	所在地	敷地・延 床面積 (㎡)	収容人員 (人)	一人当 たり面 積目安	備考	
	一時	広域	災害 時	要 援 護	緊急	収 容							補 完
西浜区 3,773 人	○							水釜児童公園	水釜6-372-12	4,464	4,464	1.0	
	○	○						兼久海浜公園	兼久85-25	74,748	74,748	1.0	
			○	○				西浜区コミュニティーセンター	水釜6-5-29	357	216	1.65	
			○					嘉手納町兼久体育館(勤労者体育館)	兼久85-23	207	125	1.65	
				○				嘉手納町総合福祉センター	水釜447-1	3,056	1,852	1.65	
				○				嘉手納町第三保育所	水釜373	970	588	1.65	
					○			イコモーパータ(高台)					
					○			町営水釜高層住宅(10階建て)	水釜379-3				
					○			嘉手納町マルチメディアセンター	水釜412				
		○	○	○		○		嘉手納中学校(グラウンド・体育館)	嘉手納312	17,853	10,820	1.65	
		○	○	○		○		嘉手納小学校(グラウンド・体育館)	嘉手納312	17,564	10,645	1.65	
					○			西区コミュニティーセンター	水釜121	526	319	1.65	
					○			ホームセンタータバタ※	兼久372-2			1.65	
				○	○		その他(アパート・マンション等)					事前協議 の検討	

※「ホームセンタータバタ」については、津波到達予想時間までに安全な高台まで避難する時間がない場合に限るものとする。

【県津波避難計画策定指針】

■津波避難の原則

・津波到達時間内の避難

国の防災基本計画では、津波到達時間が短い地域では、概ね5分以内の避難を目標としている。

市町村の津波避難計画策定においても5分以内の避難を実現すべきであるが、土地の起伏や土地利用の現況や施設配置から実現不可能な場合もある。

さらに、本県が実施した沖縄県津波被害想定調査では、数地点を除いて津波到達時間が5分以内の場所は予測されていない。

そこで、現段階では、津波到達時間内に安全な場所に避難することを原則として津波避難計画を策定するものとし、将来に向けて、5分以内に避難を実現できる環境を整えるものとする。

・5m以上又は予想される範囲・高さ以上の場所への避難

避難する場所は、浸水想定区域外の高台や避難施設とする。津波到達時間までに避難が困難な場合は、浸水想定区域内の避難ビル等に避難する。

浸水深が5m未満の場合も、標高5m以上の高台、高さ5m以上の建物ビルに避難することを原則とする。

・徒歩避難

避難は原則として徒歩とする。

■避難可能距離（範囲）の設定

津波到達予想時間と避難する際の歩行速度等に基づき、避難開始から津波到達予想時間までの間に避難が可能な距離（範囲）を設定する。

歩行速度は1.0m/秒（老人自由歩行速度、群衆歩行速度、地理不案内者歩行速度等）を目安とする。ただし、歩行困難者、身体障害者、乳幼児、重病人等についてはさらに歩行速度が低下する（0.5m/秒）こと、東日本大震災時の平均避難速度が0.62m/秒であったこと等を考慮する必要がある。

■津波避難ビル

<安全性>

- ・RCまたはSRC構造であること。
- ・原則として、津波の想定浸水深相当階の2階上以上（例：想定される浸水が1階の場合は3階以上、2階の場合は4階以上）
- ・海岸に直接面していないこと
- ・耐震性が確保（昭和56以降の耐震基準又は耐震補強済み）されていること
- ・避難路等に面していること

<機能性>

- ・進入口への円滑な誘導が可能であること
- ・夜間照明や情報機器が備わっていることが望ましい。
- ・外部から避難が可能な階段があることが望ましい。
- ・管理者等が不在の夜間、休日等に立ち入れることが望ましい。
- ・避難者の収容スペースとして1人あたり1㎡以上の面積を確保することを原則として、避難ビル候補の使用床面積から収容人員を割り出し、避難困難地域内の人口が十分収容できるようにする。